

# 古都のオーケストラが奏でる圧巻のフレンチ・プログラム

## Profile



© Felix Broede

### 沖澤のどか (京都市交響楽団常任指揮者)

Okisawa Nodoka (Chief Conductor of the City of Kyoto Symphony Orchestra)

2019年ブザンソン国際指揮者コンクール優勝、併せてオーケストラ賞及び聴衆賞を受賞。2018年には東京国際音楽コンクール<指揮>でも優勝(及び特別賞、齋藤秀雄賞を受賞)。2023年3月、第21回齋藤秀雄メモリアル基金賞 指揮部門受賞。2020年から2022年までベルリン・フィルハーモニー・カラヤン・アカデミー奨学生、及びキリル・ペトレンコ氏のアシスタント。2022年3月、連邦大統領主催のベルリン・フィルのウクライナのための連帯コンサートを指揮。2022年5月ペトレンコ氏とともにカラヤン・アカデミー50周年記念公演に出演。2023/24シーズンは、バーゼル室内管、ウィニペグ響、ケベック響、BBC ウェールズ・ナショナル管等へのデビュー、N響の定期公演デビュー、東響及び2022/23シーズンにアーティスト・イン・レジデンスを務めたミュンヘン響へ再登場するほか、読響、新日本フィル、日本フィル、オーケストラ・アンサンブル金沢等に定期的に客演。セージ・オザワ松本フェスティバル2022でモーツァルトの歌劇『フィガロの結婚』を指揮してサイトウ・キネン・オーケストラへデビュー。N.ヤルヴィ、P.ヤルヴィ、K.マズア各氏など数多くのマスタークラスを受講。2019年のリッカルド・ムーティ「イタリア・オペラ・アカデミー in 東京」指揮受講生。オーケストラ・アンサンブル金沢の指揮研究員として、また、日本とヨーロッパにおけるオペラ・プロダクションでも経験を積んだ。2020年11月東京二期会オペラ劇場公演「メリー・ウィドウ」を指揮。青森県生まれ。幼少期からピアノ、チェロ、オーボエを学ぶ。東京藝術大学で指揮を高関健、尾高忠明両氏に師事して修士号を取得。2019年には、ハンス・アイスラー音楽大学ベルリンでクリスティアン・エーヴァルトとハンス・ディーター・パウム両氏のもと第二の修士号を取得。ベルリン在住。2023年4月から京都市交響楽団第14代常任指揮者に就任。



© Tomoko Hidaki

### 吉野直子 (ハープ)

Yoshino Naoko (Harp)

ロンドン生まれ。6歳よりロサンゼルスにて、スーザン・マクドナルド女史のもとでハープを学ぶ。1981年第1回ローマ国際ハープ・コンクール第2位入賞。1985年第9回イスラエル国際ハープ・コンクールに参加者中最年少の17歳で優勝。これまでに、ベルリン・フィル、イスラエル・フィル、チューリヒ・トーンハレ管、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、フィルハーモニア管、フィラデルフィア管、ウィーン・コンツェントゥス・ムジクスなどのオーケストラや、アーノンクール、メータ、ブレーズ、プロムシュテット、メニューイン、ブルゴス、小澤征爾など国内外の著名オーケストラや指揮者と共演を重ねている。リサイタルもニューヨーク、ウィーン、ロンドン、東京など世界各地で開催、また、ザルツブルク、ルツェルン、シュレスヴィヒ・ホルシュタイン、マールボロ、セージ・オザワ松本フェスティバルなど、世界の主要音楽祭にも度々招かれ、常に好評を博している。室内楽の交流も幅広く、ヴァイオリンのグレーメル、ヴィオラのV.ハーゲン、今井信子、チェロのC.ハーゲン、フルートのニコレ、ランバル、シュルツ、バユ、ホルンのパボラークなどと共演を重ねてきた。また、ハープの新作にも意欲的に取り組み、武満徹「そして、それが風であることを知った」、細川俊夫「ハープ協奏曲」、高橋悠治「Insomniac」、マヤニ「ソナタ第2番」など初演した作品は数多い。レコーディング活動も活発で各レベルで多数録音するほか自主レーベルのグラツィオーソ (grazioso) を創設し録音プロジェクトを開始。最新盤は「ハープ・リサイタル~Intermezzo~」。1985年アリオン賞、1987年村松賞、1988年芸術祭賞、1989年モービル音楽奨励賞、1991年文化庁芸術選奨文部大臣新人賞、エイボン女性芸術賞、2021年度毎日芸術賞特別賞をそれぞれ受賞している。国際基督教大学卒業。

## 京都市交響楽団 (管弦楽)

City of Kyoto Symphony Orchestra

1956年に創立し、日本で唯一、自治体が設置し、運営に責任を持つオーケストラ。2015年、第12代常任指揮者の広上淳一とともに「第46回サントリー音楽賞」受賞、同年6月、広上淳一指揮のもとヨーロッパ公演で成功を収めた。平成28年度地域文化功労者表彰、2017年「第37回音楽クリティック・クラブ賞」本賞等を受賞。2020年4月、第13代常任指揮者兼芸術顧問に広上淳一(2022年3月まで)、首席客演指揮者にジョン・アクセルロッド(2023年3月まで)が就任。2008年4月から2022年3月まで14年間にわたり常任指揮者を務めた広上淳一のもとでは、数々の名演を生み出して黄金時代を築き上げた。2023年4月から第14代常任指揮者に沖澤のどかが就任、さらに2024年4月からは首席客演指揮者にヤン・ヴィレム・デ・フリンツが就任予定。京響は今、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。



© 井上写真事務所 井上真和

京都市交響楽団演奏会に、小・中・高校生および18歳以下の社会人の方をご招待します。

### リーデンローズ・ベッセルジュニア招待席

- 応募方法 / 往復はがきの往信用裏面に鑑賞を希望する人の住所、名前、年齢(小・中学生については学年)、電話番号を記入し、返信用はがきの表面に返送先の住所、名前をご記入のうえ、お申込ください。1枚につき1名様。なお、小・中学生のお子さまにつきましては、保護者の同意が必要となりますので、返信先宛名は保護者名でお申込ください。また、小・中学生のお子さまの場合は、保護者の方の同伴をお願いします。保護者の方は公演当日チケットを別途ご購入ください。
- お申込先 / 〒720-0802 福山市松浜町二丁目1番10号  
リーデンローズ・ベッセルジュニア招待席「京都市交響楽団 福山演奏会」係
- 締 切 / 12月27日(水)必着 ※応募者多数の場合は抽選とし、公演の2週間前までに結果をお知らせします。



#### リーデンローズ・ベッセルジュニア招待席対象公演とは

ベッセルグループがリーデンローズと共同で平成9年から毎年行っている「青少年育成のためのメセナ活動」です。小学生・中学生・高校生および18歳以下の社会人を対象に招待しています。対象公演・応募方法についてはリーデンローズのHPでご確認ください。

この招待席は企業メセナ活動の一環として行われています。